

議会だより

みなみふらの



第3回定例会概要

一般質問

町長の行政報告

教育長の教育行政報告

委員会レポート

研修会・臨時会

議会の動き

2~3P

3~4P

4~6P

6~8P

9~10P

11P

12P

9月定例議会

令和元年第3回定例会は9月18日に招集され、会期を9月18日から20日までの3日間と決めた後、監査報告、教育行政評価報告、町長の行政報告と教育長の教育行政報告7件、議会運営委員会報告、総務常任委員会報告、議員派遣報告があり、1議員による一般質問が行われました。

その後、報告案件として平成30年度南富良野町健全化判断比率及び資金不足比率の報告を受けました。引き続き、一般会計及び2特別会計補正予算、条例の一部改正7件を総務常任委員会に付託し、1日目を終了しました。

3日目の9月20日は、総務常任委員会に付託された10件について、委員長から、「原案を可とする」報告がなされ、報告のとおり可決し、一般会計補正予算1件について審議の結果、原案のとおり可決しました。

その後、報告案件として平成30年度一般会計ほか各特別会計歳入歳出決算の認定について、議員6名による決算審査特別委員会を設置、付託し、閉会中の継続調査とすることに決定し、全ての日程を終え定例町議会を終了しました。

133万円

一般会計補正予算の主なもの

- ・社会保障・税番号制度に係る健康管理システム改修委託料
- 136万円

令和元年度各会計補正予算	補 正 額	補 正 後
一般会計	4340万円	39億7858万円
国民健康保険事業特別会計	15万円	2億9763万円
後期高齢者医療事業特別会計	—	3786万円
介護保険特別会計	167万円	2億9077万円
簡易水道事業特別会計	—	1億7096万円
公共下水道事業特別会計	—	1億6558万円
合 計	4522万円	49億4138万円

- ・住宅等建設促進事業助成金 396万円
- ・後期高齢者療養給付費負担金 △450万円
- ・森林環境譲与税基金積立金 569万円
- ・消費振興活性化補助金 2700万円
- ・消費振興活性化補助金 550万円

条例の制定

能割の税率を1%軽減するものです。

○南富良野特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例の一部を改正する条例

本年10月からの幼児教育・保育の無償化に係る子どもも保育の支援法等の改正に伴い基準を改正するものです。

○南富良野町家庭的保育事業の設備及び運営に関する条例の一部を改正する条例

本年10月からの幼児教育・保育の無償化に係る子どもも保育の支援法等の改正に伴い基準を改正するものです。

○南富良野町基金条例の一部を改正する条例

本年10月からの幼児教育・保育の無償化に係る子どもも保育の支援法等の改正に伴い基準を改正するものです。

○南富良野町税条例の一部を改正する条例

本年10月からの幼児教育・保育の無償化に係る子どもも保育の支援法等の改正に伴い基準を改正するものです。

○南富良野町保育の必要性の認定基準に関する条例の一部を改正する条例

本年10月からの幼児教育・保育の無償化に係る子どもも保育の支援法等の改正に伴う利用者負担額を改正するものです。

○南富良野町保育の無償化に関する条例の一部を改正する条例

本年10月からの幼児教育・保育の無償化に係る子どもも保育の支援法等の改正に伴う対応として、令和元年10月1日から令和2年9月30日の間、環境性

人事案件

○教育委員会委員の任命

大神裕全氏（幾寅）を教育委員に任命したいとして同意を求める議案が町長から提出され、無記名投票による採決の結果、全議員の賛成により任命に同意しました。

○選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

南富良野町選挙管理委員会委員の任期満了（9月28日）に伴い、地方自治法の規定により、議会において選挙管理委員及び補充員の選挙が行われました。選挙の方法は本会議において議長の指名推選により行われ次の方々に決定しました。

選挙管理委員

鈴木 政春氏（下金山）
水口 孝司氏（幾寅）
新野 昌子氏（落合）
齋藤 保子氏（金山）

補充員（補充順位順）

①久保田智彦氏（北落合）
②柴田 崇氏（幾寅）
③森川 光義氏（金山）
④前川原淑江氏（下金山）

委員会の構成
委員長 鹿野 重博
副委員長 中野 博司
委員員員 渋谷 浩岐
委員員員 大道 修一
委員員員 阿部 年夫

決算審査特別委員会の設置

平成30年度各会計歳入歳出

決算の認定について、町長からの提案説明に引き続き、塩貝代表監査委員から各会計の決算の監査意見が述べられ、議長及び議員選出監査委員を除く、議員6名で構成する決算審査特別委員会を設置して審議するよう付託され、閉会中の継続調査とすることになりました。



問 拡大する本町の福祉サービスを今後も継続できるのか

答 計画的な財政執行にて町民の暮らしを守る政策を推進する

酒井 年夫 議員

①

福祉の取り組みについて

酒井 ①福祉サービス事業に

ついて、本町は前町長時代から福祉の町として施設福祉からスタートし、その後、時代の流れとともにサービスの内容が拡大しているが、今後に於いても現状の福祉サービスを継続していくのか。特に通院等の移送サービスの方について精査してみる必要があるのではないか。

町長 本町としてもさまざまな福祉事業を実施しているが、

今後、人口減少とともに財政規模が小さくなっていくなか、財源の確保と福祉の担い手の確保が今後の課題となると思われ、現在進めている行財政改革と財政シミュレーションに基づく計画的な財政執行に努めつつ、住民の暮らしを守る政策を最優先に町政執行を推進していきたい。

また、通院等の移送サービスについては、社会福祉協議会が主体となつて行つてゐる無償化を実施するということであり、



事業であるが、現在JRが不便な状況にあり、他の公共交通機関の選択手段のない本町にとっては重要な事業である

と認識しており、町としては引き続き財政支援を行いながら事業の継続を求めていく考

えであるが、その対象者、移

送先、利用者負担などについてご指摘の事項については社

会福祉協議会と協議を行うな

かで、前向きに検討し対処していきたい。

②国との児童教育・保育

酒井 ②国の児童教育・保育

無償化の施策が本年10月より保育所利用者負担について実施されるなか、本町では国の制度に上乗せして町独自の政策を行うようにも聞かされますが、一度制度として実施するに見直しが大変難しくなるのが現実であるが、真実なのか伺う。

町長 国は消費税の改正にあわせて、その財源により子育

ての負担軽減を図るため、3歳から5歳児の教育・保育の無償化を実施するということであり、

を決定したということであり、

本町においても今定例会に改正条例の提案をさせていただきが、本町はこれまで保育料を給食にかかる費用も含めて全額町負担として措置をしてきている。本年度は年度途中であることに加え、減収分を国が交付金で補填することが示されていることから、これらの軽減措置は引き続き実施をしていきたいと考えているが、令和2年度以降においては、国はこの無償化に係る地方負担分を普通交付税での一般財源化とする方針であると

いうことで、その情勢をよく見極めないと、これらの軽減措置が引き続き実施されるのかも分からぬことから、令和2年度以降の状況をいち早く察知し、国の出方を見て今後の方針を検討させていただきたい。

②金山小果樹農園の運営について

酒井 金山小果樹農園のあり方について、現在より更に規模の拡大をするのか。また、

町長 金山小果樹農園については、ブルーベリーやシーベリーなどの生育も良好で果実も着実に増えており、来園者数の増加とともに町民の関心度も高まつてきていると思われる。将来的に観光果樹園や特産品づくりなどにより金山地域の活性化を目指していきたいと考えているが、現時点としては、当面は町民が果樹に親しんで利用していただける場として管理運営をさせていただきたいと考えている。



■水道配水管漏水修理の際に発生した事故について

令和元年6月19日午後0時35分頃、町職員3名と本町給水工事指定業者の職員1名が森林公園浄水場配水池付近で配水管の漏水修理を行っている際、漏水箇所の掘削溝において土砂崩落による事故が発生いたしました。

この事故に巻き込まれた町職員1名は肋骨多発骨折、指定業者職員は右足の軽度な打撲と診断され、町職員については数日間の在宅療養の後、職場復帰をしたところであります。

■JR根室本線の災害復旧と路線維持をめぐる情勢

JR根室本線の災害復旧と路線維持をめぐる6月定例会以降の状況であります。7月には根室本線アクションプラン実行委員会幹事会が開催され、プランの実行に向けた今後の進め方について協議がされたほか、根室本線対策協議会の取り組みとして、9月2日に北海道及びJR北海道に対し、私を含め協議会を構成する7市町村長により「JR北海道の路線維持に向けた

今年度の収支予算額は424万円で、現時点での販売収入実績は39万円となつておる。今後の課題としては、最終的に良質なワイン用ぶどうの収穫が可能であると判断された場合、当地においてワイン用ぶどう栽培を考えており、その段階においては運営主体などについても検討していくかなければならないと考えている。



町長の行政報告

今回の重大な事故を踏まえ検証を行った結果、掘削土の置場が地山の不安定な場所であつたことなど、漏水修理を開始したことが事故に繋がった要因であると判断しております。

今後はこのようない度と起こさないよう事故の検証をしつかりと行い、更なる安全対策の徹底を図つてまいります。

度と起こさないよう事故の検証をしつかりと行い、更なる安全対策の徹底を図つてまいります。

JR根室本線の災害復旧と路線維持をめぐる6月定例会以降の状況であります。7月には根室本線アクションプラン実行委員会幹事会が開催され、プランの実行に向けた今後の進め方について協議がされたほか、根室本線対策協議会の取り組みとして、9月2日に北海道及びJR北海道に対し、私を含め協議会を構成する7市町村長により「JR北海道の路線維持に向けた

要請書」を、中野北海道副知事及び小山JR北海道副社長に提出してきたところであります。

要請内容といたしまして、北海道に対しては、平成30年3月に北海道が策定した「北海道交通政策指針」に明記されている、富良野～新得間の検討内容として、災害時の代替ルートあるいは観光ルートの可能性といった観点も考慮する必要性について諷われているなかで、この指針に基づいた北海道としてのこれからの方考え方と、国に対し法改正に向けた抜本的な支援策を求める要請を行つてまいりました。

また、JR北海道に対しては、中期経営計画において取り組みが計画されている観光列車の運行について、災害発生以来不通となつている東鹿越～新得間の復旧を前提に、広域観光周遊ルートの位置づけがされるよう要請を行つたところであります。が、いずれも、災害復旧に関するの言及

はなく、路線の維持について期待できるような回答は示されなかつたところであります。

JR北海道がバス転換方針を示している赤茶5線区の情勢を見ますと、石勝線（新夕張～夕張間）については、本年4月1日から既にバス転換され、また、札沼線（北海道医療大学～新十津川間）は、明年5月の鉄道事業廃止が決定しているところであり、日高線（鵡川～様似間）については、JR北海道としての考え方方が提案され、現在、地域と検討・協議がなされています。

加えて、留萌線（深川～留萌間）につきましては、先の新聞記事によりますと「JR留萌本線沿線自治体会議」において進めてきた協議において4市町の足並みがそろわらず、具体的な話し合いに入れないので、JR北海道が基本的な方針としている「鉄道よりも便利で効率的な他の交通手段への転換」が徐々に進められ、このことを踏まえ、去る8月27日に金山地区において、民



■金山地区ガソリンスタンドの閉店について

輸送密度が2000人未満とされる道内5線区において、それぞれ地域事情は異なるものの、JR北海道が基本的な方針としている「鉄道よりも便利で効率的な他の交通手段への転換」が徐々に進められ、このことを踏まえ、去る8月27日に金山地区において、民

金山地区ガソリンスタンドの閉店につきましては、先の6月定例会におきまして、本年12月20日をもつて閉鎖することになり、特に影響が懸念される金山地区及び下金山地区的民主会・自治会との意見交換を行い、地域の意見等を踏まえて行政としての今後の対応を検討する旨報告申し上げたところであります。

このことを踏まえ、去る8月27日に金山地区において、民

主会・自治会の皆様と懇談を行ったところを踏まえ、去る8月27日に金山地区において、民

主会・自治会の皆様と懇談を行ったところを踏まえ、去る8月27日に金山地区において、民

主会・自治会の皆様と懇談を行ったところを踏まえ、去る8月27日に金山地区において、民

主会・自治会の皆様と懇談を行ったところを踏まえ、去る8月27日に金山地区において、民

主会・自治会の皆様と懇談を行ったところを踏まえ、去る8月27日に金山地区において、民

主会・自治会の皆様と懇談を行ったところを踏まえ、去る8月27日に金山地区において、民

については困難であるとの判断に至ったところであります。

やLPGガスについては、佐藤商会の従業員の方が、北炭販売の地域担当として残り、引き続き配達業務等に携わる予定であり、従来どおりメンテナンスなどのサービスが継続されるとお聴きしております。

干ばつが心配されました。大さな影響を受けることなく、現在に至っております。

やLPGガスについては、佐藤商会の従業員の方が、北炭販

売の地域担当として残り、引き続き配達業務等に携わる予定であり、従来どおりメンテナンスなどのサービスが継続されるとお聴きしております。

■農作物の生育状況

農業委員会の作況調査報告によりますと、3月までの積雪は平年に比べ少なく、融雪は順調に進み、幾寅地区の早いほ場では4月10日に融雪期を迎える。町内全体では平年より3日早い4月15日に融雪期を迎えております。

融雪後、5月にかけて気温は高めに推移したことから、麦類では出芽が早く生育も順調で、馬鈴薯やてん菜の播種作業も早めに進みました。

その後、6月下旬から8月上旬にかけて高温・好天に恵まれたことから、各作物とも順調な経過をたどり、7月は

■建設工事の進捗状況

本年9月10日現在の町発注

施設設計画策定業務委託、森林管理道浅住線外1路線橋梁点

主な作物の生育状況について申し上げますと、水稻は生育後半、低温・日照不足のため、成熟がやや遅れていますが、もみ数が多く作柄は「や良」であります。馬鈴薯に

ついては、やや小玉傾向ですが、いも数は多く作柄は「良」であります。人参についても、概ね生育に大きな障害はなく収穫も順調に進んでおり作柄は「良」であります。麦類は、既に収穫が終わっていますが、秋まき小麦及び二条大麦

校の避難所非常用発電機設置工事、簡易水道配水管布設替工事外1件は、工期内に完了する見込みで順調に工事が進行されています。

また、土木工事の東幾寅線改良工事、福寿橋橋梁補修工事外2橋についても、工期内に完了する見込みで順調に工事が進められています。

協力会員のための講習会は6月24日から8月29日までの期間に7回開催し、子育て支援活動に意欲、関心のある27名が受講され、子どもの心身の発達、小児看護をはじめ保育の心得や病気、心肺蘇生法など合計24時間にわたり講習を行いました。

■ファミリーサポートセンター事業

工事の進捗状況ですが、検診事業委託業務につきましては、履行期日までに完了するよう進められております。

事は、既に工事が完了してお

り、当初予算計上分では、町有施設解体工事、教員及び職員住宅屋根外壁塗装工事、南北第2団地改修及び屋根外壁塗装工事、幾寅しらかば団地A棟及びデイサービスセンター屋上防水補修工事は既に完了しているほか、南富良野中学

教育行政報告 教育長の



■令和元年度全国学力・学習状況調査

北海道教育委員会は、小学6年生と中学3年生を対象に4月に行いました全国学力・学習状況調査の結果を公表しました。本年度の調査は、国語、算数・数学において知識と活用を一体的に問う問題に見直され、また、新たに中学生に英語を加えて実施されました。本年度の建設工事について地域での応援、助け合いの仕組みでありますので、今後も講習会を開き町民皆様に理解してきました。

北海道全体としての調査結果では、小学生は国語・算数の両方で全国平均を下回り、中学生は国語・数学・英語の

いるところであります。

また、委託事業の橋梁個別

事業が進められております。

この事業は子育てに対する地域での応援、助け合いの仕組みでありますので、今後も講習会を開き町民皆様に理解してきました。

北海道全体としての調査結果では、小学生は国語・算数の両方で全国平均を下回り、中学生は国語・数学・英語の

3教科全てで全国平均を下回りました。

本町の結果は、小学生では2教科とも全国平均を下回りましたが、中学生では3教科全てにおいて全国平均を上回りました。

今回の調査結果を基に検証改善サイクルの確立を図り、児童生徒一人ひとりに確かに学力を身につけさせるための組織的・継続的な質の高い取り組みを進めてまいります。

児童生徒一人ひとりに確かに学力を身につけさせるための組織的・継続的な質の高い取り組みを進めてまいります。児童生徒一人ひとりに確かに学力を身につけさせるための組織的・継続的な質の高い取り組みを進めてまいります。

日に旭川で開催された上川管内大会に出場しましたが、残念ながら全道大会進出とはなりませんでした。

吹奏楽部については、8月3日に北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選中学校の部に出場し、これまで7年連続銅賞でありましたが、本年度は銀賞に輝いたところであります。

また、ソフトテニス部が8月4日に富良野沿線中学校新入戦大会に出場し、2年生男子ペアが優勝しました。

今後とも、各部への活動を支援するとともに、活躍されることを期待するところです。

■南富良野中学校の部活動

成績

去る6月21日から中体連球技大会が開催され、南富良野中学校から野球・ソフトテニス・卓球・バレー・ボールの4種目に出演しました。団体戦では4種目ともに敗退となりましたが、個人戦ではソフトテニス男子が優勝し、7月6

から鹿児島県伊佐市で開催されました。全国高等学校力マニア選手権大会に出場いたしました。台風接近のため、日程後半に予定されていた200m競技が中止となり、500m競技のみの開催となりました。

結果は、男子のカヤックペアが予選敗退となりましたが、男子カヤックシングルと女子カヤックペアが準決勝に進出し、女子カヤックシングルでは一昨年以来の決勝に進み、第5位に入賞しました。

また、7月21日苫小牧で開催されたジュニアカヌースプリント選手権大会において好成績を収めたことから、10月4日から7日までの期間で、茨城県神栖市で開催される第74回国民体育大会カヌー競技に南富良野高等学校3年生男

が行われました。また、9月7日には、インターんシップ報告会を行い、一人ずつ体験し学んだことをまとめ、自らのプレゼンテーション能力を磨きました。この経験を踏まえ、自分の適性や可能性を考えています。

■南富良野高等学校の事務事業等の取り組み

はじめに、生徒本人のスキルアップ並びに介護職としての知識及び技術を修得するた

めに奨励しております、介護

力アップ並びに介護職としての知識及び技術を修得するた

めに



見学説明会の様子

では、高校生によるインタビューフォーマットでの学校紹介や、

これまで成長したことの説明を行い、その後座談会形式で参加中学生への説明並びに授業見学、部活動見学を行うなど、昨年度までの内容を一部見直しし情報発信とPRの強化に努めました。

また、保護者の方々には、本年度から進学対策として取り組んでいるタブレットを使用した学習の実演を行いました。

■沖縄県本部町との親善交流

事業 去る6月24日から28日まで

の4泊5日の日程で、29回目となる沖縄県本部町への親善交流事業を実施しました。

本年度は南富良野小学校6年生12名、南富良野西小学校6年生2名、随行者5名の計19名が、3回の事前学習で本町のPRやよさこい踊りの練習に加え、沖縄県で何を学ぶのかグループ討議をして決定するなど、南富良野町の代表として目的や課題を持って出

きました。

天候悪化により予定通りの日程にならない部分もありま

うなど、昨年度までの内容を説明を行ったが、初日の歓迎会では平

良町長を初め多くの関係者の皆様に温かい歓迎を受け、翌日からは灼熱の太陽と青い海

のなか、マリン体験や伊豆味小学校での交流学習、ひめゆりの塔・平和記念資料館訪問による平和学習や生活文化の違いなどを多くのことを学びました。また、本部町の家庭でのホームステイを通じて、友

好の絆を深め、南国沖縄での生活習慣や風土など北海道との違いを経験し、全員無事帰町いたしました。

この経験を今後の学校生活に、更には将来につなげ活かしていただき、本部町との交流がますます広がることを期待するところであります。

■札幌交響楽団南富良野公演

去る6月24日から28日まで

の4泊5日の日程で、29回目となる沖縄県本部町への親善交流事業を実施しました。

本年度は南富良野小学校6

「響」の愛称で親しまれ、透明感のあるサウンドとパワフルな表現力で広く知られていました。

当日は、予想を大きく上回る380名の観客に来場いた

すぎたが、モーツアルトの交響曲及び45分間に及ぶ劇音楽「ペール・ギュント」が演奏され、会場は大変盛り上がりました。終了後には、会場

を代表して南富良野高等学校生徒会長より指揮者の佐藤俊

馬さんへ花束を贈り、大きな拍手が鳴り響きました。普段なかなか聞くことができない、プロの演奏会という貴重な機会を与えていただきまして札幌交響楽団の皆さんに心から感謝するところであります。

■1日防災学校 去る8月30日及び31日に小

が防災・減災行動をとる「生きる力」の育成並びに地域における防災力の向上を図る目的で行いました。

8月30日には南富良野西小学校において、地震や津波などの自然災害に関する授業

の実施や町内危険箇所の確認を行い、災害用非常食で昼食とするなど、防災への意識や知識を学びました。

また、「南富良野町防災の日」である8月31日には、大雨の影響によりユクトラシユベツ川が増水し越水することが予想されることから、町災害対策本部は、幾寅栄町地区住民に対し避難準備を発令し、南富良野中学校体育館を避難所として開設し、途中、停電並びに断水になったというシナリオのもと行いました。当日は、中学生が町職員及び教員とともに救護班・食糧班・衛

生班・広報班など7つの班に分かれ避難所の運営を実際に行い、南富良野小学校児童及び住民の方々が避難者となり、疑似体験を行いながら避難所

に際しまして、ご協力いただきました多くの関係者の皆様に感謝とお礼を申し上げます。

なお、1日防災学校の実施に際しまして、ご協力いただ

きました多くの関係者の皆様に感謝とお礼を申し上げます。

今後も継続した防災教育に取り組んでまいります。

ました。さらに会場の一角を利用し、津波発生装置による実演や、避難者による段ボーラベットの作製並びに新聞紙を利用したスリッパ作りの体験や災害関連用品の展示を行いました。

また、避難所における昼食として、上富良野駐屯地第4特科群第1331特科大隊並びに町赤十字奉仕団が炊き出しを行い、総勢300名の方々の参加のもと終了しました。

午後からは、北海道教育大学附属路校教授境智洋氏によ

り題して防災教育講演会を開催しました。講演では、過去に南富良野町を震源とする地震があつたことや、川が氾濫する危険性はアイヌ語が参考になること、自然災害時にるべき行動などが話されました。

なお、1日防災学校の実施に際しまして、ご協力いただ

きました多くの関係者の皆様に感謝とお礼を申し上げます。

今後も継続した防災教育に取り組んでまいります。

委員会レポート

【議会報告会の班編成】

地区	対応議員
金山 下金山	鹿野重博・渋谷浩岐
幾寅	酒井年夫・遠藤謙一
北落合 落合	大道重治・中野博司

※議長・副議長は全てに出席

議会運営委員会
委員長 鹿野 重博

■議会の活性化について

本委員会として議会の活性化に取り組む方針を協議しました。

①議会活動の基本的な考え方と取り組みについて（議会改革）

②議員としての取り組みや行動について（意識改革）

③議会としての情報発信について（町民から期待・信頼される議会）

その中で、開かれた議会・町民参加の議会を目指し、町内5地区に出向き議会での論議経過報告や行政の諸課題について意見交換を行う「議会報告会」を議員総意のもと、取り組んでいく方向で決定しました。

議会運営委員会

委員長 鹿野 重博

■議会報告会

令和元年10月25日に町議会として初めての取り組みである「議会報告会」を金山地区

コミュニティセンターにて開催しました。

金山地区から15名の町民に参加をいただき、はじめに令和元年第3回定期町議会について報告を行い、その後、意見交換を行いました。

の観光客も来ている。

などの意見や質問がありま

総務常任委員会
委員長 大道 重治

■JR根室本線の災害復旧と路線維持について

4項目について閉会中の継続調査を行いました。

初めての開催で、手探りの部分もありますが、今後もこのような報告会を設けさせていただきます。

いただき、開かれた議会・町民参加の議会を目指していきたいと思いますので、引き続き議会活動について、ご理解くださいますようお願いいたします。

根室本線対策協議会における要請活動を、北海道とJR北海道に対して首長名で行う。

（今回の要請活動は、主に新知事として指針の考え方などについて真意を問い合わせて行うものである）

委員からは、これまでの協議の中で違った角度で論議されていないのか。行政や根室本線対策協議会としての根本的な動きが見えてこない。おざなりの要請活動となつていいのか。協議会でも首長間に意見の違いがあるのではないか。うちの問題は旭川～帯広間である。今後、行政としての取り組みや動きなど、町長から聞き取りをしたいなどの意見があつた。



金山地区「議会報告会」の様子

・JRを廃線で無くすのは簡単だが、鉄道員（ぼっぽや）いか。

・旧金山小学校など解体されずに残っている建物を地域で活用していくいか。

・デマンドバスの運行時間等、手軽に利用しやすくなれど、いか。

・プレミアム商品券は、金山で使える商店がない。

・行政はもつと地域住民の声を聴いてほしい。

・地域振興に繋がっているのか。

・今後の地域のあり方をどう考へているのか。

・旧金山小学校など解体されずに残っている建物を地域で活用していくいか。

・行政や根室本線対策協議会としての根本的な動きが見えてこない。おざなりの要請活動となつていいのか。協議会でも首長間に意見の違いがあるのではないか。うちの問題は旭川～帯広間である。今後、行政としての取り組みや動きなど、町長から聞き取りをしたいなどの意見があつた。



物産センター

物産センターの利用者については年間平均27万人超が訪れており、道の駅再編整備については考察の枠組みとして現在の道の駅の売り上げの現状と推移、リニューアルの投資効果と考察条件の留意点、アウトドア用品店の出店可能性とそれに伴う経済波及効果等の説明があつた。整備方針として、既存改修型での整備を考えており、リニューアル投資額は総額で9億8580万円に対し町財政からの支出想定額4億円で財源は社会資

本整備総合交付金、地方創生拠点施設整備交付金、過疎債に対する。今後は令和2年度に実施設計に入り、令和4年度のリニューアルオープンを目指す。

委員からは、人材の確保が絶対条件であり、人材を揃えて検討し条件を整備していく必要があるのではないか。人材の確保や観光施設との結びつき、年間を通して何をやっていくのか。付随する集客の工夫（冬期間）がないのではないか。企画者リーダーを中心にお進めていくことが成功への分岐点になるのではないかなどの意見があつた。

方がある状況であり、今回の改正により「会計年度任用職員」に移行しなければならない。本整備総合交付金、地方創生拠点施設整備交付金、過疎債に対する。今後は令和2年度に実施設計に入り、令和4年度のリニューアルオープンを目指す。

委員からは、人材の確保が絶対条件であり、人材を揃えて検討し条件を整備していく必要があるのではないか。人材の確保や観光施設との結びつき、年間を通して何をやっていくのか。付随する集客の工夫（冬期間）がないのではないか。企画者リーダーを中心にお進めていくことが成功への分岐点になるのではないかなどの意見があつた。

■会計年度任用職員制度について

制度としては平成29年5月に法改正（地方公務員法・地方自治法）されており、令和2年4月から施行となつている。本町でも「非常勤特別職」で働いてもらつていている方が相当数おり、また、「臨時の任用職員」についても保育所を中心に臨時として雇用している

方がある状況であり、今回の改正により「会計年度任用職員」に移行しなければならない。本整備総合交付金、地方創生拠点施設整備交付金、過疎債に対する。今後は令和2年度に実施設計に入り、令和4年度のリニューアルオープンを目指す。

委員からは、人材の確保が絶対条件であり、人材を揃えて検討し条件を整備していく必要があるのではないか。人材の確保や観光施設との結びつき、年間を通して何をやっていくのか。付随する集客の工夫（冬期間）がないのではないか。企画者リーダーを中心にお進めていくことが成功への分岐点になるのではないかなどの意見があつた。

■福祉移送サービス事業について

制度としては平成29年5月に法改正（地方公務員法・地方自治法）されており、令和2年4月から施行となつている。本町でも「非常勤特別職」で働いてもらつていている方が相当数おり、また、「臨時の任用職員」についても保育所を中心

方がある状況であり、今回の改正により「会計年度任用職員」に移行しなければならない。本整備総合交付金、地方創生拠点施設整備交付金、過疎債に対する。今後は令和2年度に実施設計に入り、令和4年度のリニューアルオープンを目指す。

委員からは、人材の確保が絶対条件であり、人材を揃えて検討し条件を整備していく必要があるのではないか。人材の確保や観光施設との結びつき、年間を通して何をやっていくのか。付随する集客の工夫（冬期間）がないのではないか。企画者リーダーを中心にお進めていくことが成功への分岐点になるのではないかなどの意見があつた。

方がある状況であり、今回の改正により「会計年度任用職員」に移行しなければならない。本整備総合交付金、地方創生拠点施設整備交付金、過疎債に対する。今後は令和2年度に実施設計に入り、令和4年度のリニューアルオープンを目指す。

委員からは、人材の確保が絶対条件であり、人材を揃えて検討し条件を整備していく必要があるのではないか。人材の確保や観光施設との結びつき、年間を通して何をやっていくのか。付随する集客の工夫（冬期間）がないのではないか。企画者リーダーを中心にお進めていくことが成功への分岐点になるのではないかなどの意見があつた。

■福祉移送サービス事業について

方がある状況であり、今回の改正により「会計年度任用職員」に移行しなければならない。本整備総合交付金、地方創生拠点施設整備交付金、過疎債に対する。今後は令和2年度に実施設計に入り、令和4年度のリニューアルオープンを目指す。

委員からは、人材の確保が絶対条件であり、人材を揃えて検討し条件を整備していく必要があるのではないか。人材の確保や観光施設との結びつき、年間を通して何をやっていくのか。付随する集客の工夫（冬期間）がないのではないか。企画者リーダーを中心にお進めていくことが成功への分岐点になるのではないかなどの意見があつた。



社会福祉協議会の移送車両

議会を傍聴してみませんか

町議会は、定例会が年4回（3月・6月・9月・12月）開かれ、そのほか臨時会が必要ある時に開かれます。

町政の運営状況や議員の活動状況を知るためにもよい機会です。議会を傍聴してみてはいかがでしょうか。

●次の定例会開催日● 12月18日から20日（予定）

本会議生中継映像をインターネットで配信していますので、ぜひご視聴ください。



■町村議会広報研修会

(8月20日・札幌市)

中野 博司

町村議会研修会に5名の広報委員が参加しました。研修会では、「月間総務」編集長の豊田健一氏を講師に迎え、

「読者目線で親切な広報誌を作るのは」という演題で、読んでもらえる議会広報誌の作り方についてご講演いただきました。特に講演では、読んでもらえそうなネタだけ厳選

「読者目線で親切な広報誌を作るのは」という演題で、読んでもらえる議会広報誌の作り方についてご講演いただきました。特に講演では、読んでもらえそうなネタだけ厳選



ニックが行われ、課題・改善

点などについて、講習を行いました。今後の参考といった

します。

■富良野沿線市町村議会議員研修会

(10月11日・占冠村)

渋谷 浩岐

富良野沿線市町村議会議員研修会が占冠村で開催され、沿線5市町村議員54名が出席しました。(当議会6名参加)

講師は、元三鷹市職員で現在、株式会社ローカルファースト研究所代表取締役関幸子氏で「人口減少時代の地方議会の役割」ということで講演をいただきました。都市圏、沿線5市町村の人口の推移や、その要因、人口減少の進むなかで人口増に転じている自治体など様々な統計や事例を用い、「なぜ、今地方創生なのか」「急激に変化する社会、だからチャンスあり」「議会、自治体の役割」と時折厳しい助言も交えながら、3つのテーマで進められました。

町の議会広報誌によるクリ



理事長の樋口英俊氏による

「障がい者の就労と高い作業工賃確保を目指して」と題し、当該法人運営の「働く」「暮らす」「遊ぶ」の3理念に基づき

利用者を29年で10倍にするなど地域社会を支えているなど

の内容についての講演と、北海道大学客員教授の久田徳二氏による「グローバリゼー

ションの新時代」と題し、農畜産物の今後の輸入枠、それらの遺伝子組み換え、ゲノム編集、農薬などの影響と、地域産業と今後の道民の健康や暮らしは、との内容に関する

講演が行われました。

本町にもヒントになることがあるような気がする興味深い講演でした。

■上川管内町村議会議員研修会

(10月29日・美瑛町)

阿部 修一

上川町村議会議長会主催の管内議会議員研修会が美瑛町市民センターにおいて開催され、7名の議員が参加しました。

令和元年第3回

臨時議会

8月5日



■令和元年度一般会計補正予算

算

・子ども・子育て支援システム改修及び新制度に関する
例規整備支援業務委託料

195万円

令和元年10月からの幼児教育無償化に関連する子ども・子育て支援事業費として追加するものです。

れ危機意識を持ち、行政がそれぞれ危機意識を持ち、行政がそれぞ

社会福祉法人江差福祉会

議会の動き

令和元年8月～10月

- 8月5日 ○南富良野町議会第3回臨時会
- 議会運営委員会 ○全員協議会
- 総務常任委員会
- 6日 ○陸上自衛隊上富良野駐屯地幹部異動に伴う歓迎会（上富良野町）
- 7日 ○陸上自衛隊遠藤第3施設団長来町に伴う歓迎懇親会
- 8日 ○鷹栖町町制施行50周年記念式典（鷹栖町）
- 10日 ○北口ゆうこう道議と語る青空の集い（土別市）
- 20日 ○町村議会広報研修会（札幌市）
- 22日 ○上川教育研修センター組合議会第2回定例会（旭川市）
- 25日 ○陸上自衛隊富士総合火力演習（静岡県御殿場市）
- 27日 ○総務常任委員会 ○全員協議会
○陸上自衛隊上富良野駐屯地部隊長異動に伴う歓迎会（上富良野町）
- 28日 ○南富良野町商工会長他来局（プレミアム付商品券要請）
- 29日 ○南富良野町福祉スポーツ大会
- 9月3日 ○オサダ農機株式会社塗装工場竣工・落成式（富良野市）
- 7日 ○南富良野大乗会「ふれあいフェス夕」
- 12日 ○議会運営委員会 ○全員協議会
- 18日 ○南富良野町議会第3回定例会
- ～20日 ○議会運営委員会 ○全員協議会
○総務常任委員会
○議会広報特別委員会

- 21日 ○南富良野中学校吹奏楽部定期演奏会
- 26日 ○陸上自衛隊森下第2師団長防衛講話及び囲む会（上富良野町）
- 27日 ○陸上自衛隊徳留上富良野駐屯地司令を囲む会（東鹿越）
- 28日 ○フォレストタウン記念植樹祭（金山）
- 29日 ○南恵庭駐屯地創設67周年・第3施設団創隊58周年記念行事（恵庭市）
- 10月7日 ○議会運営委員会 ○全員協議会
- 9日 ○富良野沿線市町村議会議長会定例（秋期）議長会（中富良野町）
- 10日 ○陸上自衛隊浅賀第3施設団長を囲む会（上富良野町）
- 11日 ○富良野沿線市町村議会議員研修会（占冠村）
- 15日 ○富良野圏域における河川整備促進に関する要望活動（旭川市）
- 17日 ○上川管内町村議会議長研修会（愛別町）
- 19日 ○南富良野小学校学芸会
- 21日 ○富良野広域連合議会第2回定例会
- 25日 ○議会報告会（金山）
- 28日 ○上川町村議会議長会役員会（旭川市）
- 29日 ○上川管内町村議会議員研修会（美瑛町）
- 30日 ○平成28年台風被害に伴う空知川河川整備事業の促進と地域の活性化に関する要望活動（札幌市）

令和の時代となり、昭和・平成と先人からの継続を重んじつつ、常に行政は明日へ向かつて本町のあるべき姿を求め、前進する努力を怠つてはならないと思います。このためにも議会は行政に対してチェック機能を働かせ、あるべき方向をしつかり論議しなければなりません。私達議員はこの議員力、議会力を、議会力の核になるとと言われています。議員一人ひとりがしつかり一般質問を行うことは、議会の監査機能や政策提案機能を発揮することとなり、議員高めることが最重要課題であることを自覚しなければならないと反省を込めて編集後記といたします。

（酒井年夫）

委員会	委員会	委員会	委員会	副委員長	委員長	
員員員員員員						
大道阿井酒鹿遠済済済済	野	遠藤	済済済済	済済済済	済済済済	中野
重修一夫	重博	謙一	浩岐	博司		
治						

議会広報特別委員会

編集後記